

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	90184に同じ
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	90184に同じ
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												ウエストナイルウイルス	CDC(http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90251に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 Jan 5	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457: 1079	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090108.0076	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbru.htm.)	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbm onde.htm.)	90251に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	90251に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	90236に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
385	2009/6/18	90254	日本赤十字社	人全血液	人全血液	人血液	日本	有効成分	有	無	有	ウエストナイルウイルス	CDC(http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90251に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 Jan 5	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457: 1079	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090108.0076	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbru.htm.)	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbm onde.htm.)	90251に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	90251に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-29	90139に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	90236に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
												レンサ球菌感染	Transfusion 2008; 48: 2177-2183	90184に同じ
												細菌感染	Transfusion 2008; 48: 2348-2355	90184に同じ
												感染	BMJ 2008; 337: a2622	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal07.pdf	90184に同じ
												感染	http://www.fda.gov/cber/blood/fatal08.pdf	90236に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												バベシア症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-2	90184に同じ
												バベシア症	2009 Feb 23; New York City, Department of Health	90236に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-3	90184に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	Emerg Infect Dis 2009; 15:653-655	90251に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	ProMED-mail20090406.1328	90251に同じ
												アメリカ・トリパノソーマ症	CBER (http://www.fda.gov/cber/gdlns/chagas.htm)	90251に同じ
												マラリア	AABB Annual Meeting and TXPO 2008-4	90184に同じ
												マラリア	Am J Trop Med Hyg 2009; 80: 215-217	90184に同じ
												リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												リケッチア症	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
386	2009/6/18	90255	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス	CDC(http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90251に同じ
												HHV-8感染	Transfusion 2008; 48: Supplement 105A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008; 79: 229-231	81068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2008; 48: Supplement 33A	81068に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2009; 15: 265-271	90139に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 Jan 5	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457: 1079	90236に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090108.0076	90251に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbru.htm .)	90251に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbm onde.htm .)	90251に同じ
												HIV	Eurosurveillance 2008; 13(50): 19066	81068に同じ
												インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	90251に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090218.0669	90139に同じ
												A型肝炎	Vox Sanguinis 2009; 96: 14-19	90139に同じ
												B型肝炎	日本小児感染症学会第40回総会・学術集会 E-20	90139に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	90236に同じ
												C型肝炎	日本血液事業学会第32回総会	90139に同じ
												E型肝炎	AABB Annual Meeting and TXPO 2008	90139に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 2568-2576	90139に同じ
												E型肝炎	Clin Infect Dis 2009; 48: 373-374	90139に同じ
387	2009/6/18	90256	バイオ ジェン・ア イデック・ ジャパン	インターフェロン ベータ-1a(遺 伝子組換え)	ウシ胎児血 清	ウシ胎児血 液	米国	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA(2009- 04-09)	カナダで15頭目のBSE牛の確認。当該牛は 94ヶ月齢のホルスタイン乳牛。一緒に飼育され た187頭のうち22頭は当該農場で生存しており 屠殺処分された。122頭は既に死亡、屠殺を確 認。24頭は死亡あるいは屠殺と推定され、5頭 は輸出されている。14頭は記録不足により追 跡不可能。
388	2009/6/18	90257	バイオ ジェン・ア イデック・ ジャパン	インターフェロン ベータ-1a(遺 伝子組換え)	ウシトランス フェリン	ウシ血液	米国、カナ ダ	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA(2009- 04-09)	90256に同じ
389	2009/6/18	90258	バイオ ジェン・ア イデック・ ジャパン	インターフェロン ベータ-1a(遺 伝子組換え)	ウシインスリ ン	ウシ膵臓抽 出物	米国、カナ ダ	製造工程	有	無	無	BSE	CFIA(2009- 04-09)	90256に同じ
390	2009/6/19	90259	ジェンザ イム・ ジャパン	イミグルセラージェ(遺伝子組換 え)	イミグルセ ラーゼ(遺伝 子組換え)	遺伝子組 換えチャイ ニーズハム スター卵巣 細胞	宿主細胞 系は Dr.L.A.Cha sin(Columb ia University) より入手し たジヒドロ	有効成分	無	無	無			
391	2009/6/19	90260	ジェンザ イム・ ジャパン	イミグルセラージェ(遺伝子組換 え)	ウシ胎児血 清	ウシ胎仔血 液	米国、カナ ダ	製造工程	無	無	無			
392	2009/6/19	90261	ジェンザ イム・ ジャパン	イミグルセラージェ(遺伝子組換 え)	ドナー仔牛血 清	ドナー仔牛 血液	ニュージー ランド	製造工程	無	無	無			
393	2009/6/22	90262	サノフィ バスター ル第一 三共ワク チン	黄熱ワクチン	発育鶏胚	発育鶏卵	米国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
394	2009/6/23	90263	持田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FEB S Letters 2008; 582: 3161-3166	81005に同じ
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												エボラ出血	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000212	81005に同じ
												ハンセン病、らい腫型	Eurek Alert November 24, 2008	90100に同じ
												細菌感染	日本感染症学会西日本地方会学術集会 第78回 2008年12月5-6日 063	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	81005に同じ
												レトロウイルス	日本ウイルス学会第56回学術集会 2P111	90101に同じ
細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ												
												新型インフルエンザ(H1N1)	MHLW(平成21年4月28日健感発0428003号)	メキシコや米国で発生している豚インフルエンザ(H1N1)を、感染症法に規定する「新型インフルエンザ」と位置づける。
395	2009/6/24	90264	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Penicillium luteum	-	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
396	2009/6/24	90265	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Cladosporium cladosporioides	—	有効成分	無	無	無			
397	2009/6/24	90266	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	—	有効成分	無	無	無			
398	2009/6/24	90267	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	—	有効成分	無	無	無			
399	2009/6/24	90268	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	—	有効成分	無	無	無			
400	2009/6/24	90269	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Candida albicans	—	有効成分	無	無	無			
401	2009/6/24	90270	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Alternaria kikuchiana	—	有効成分	無	無	無			
402	2009/6/24	90271	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲンエキス	Aspergillus fumigatus	—	有効成分	無	無	無			
403	2009/6/25	90272	化学及血清療法研究所	乾燥ペブシン処理人免疫グロブリン	ペブシン処理人免疫グロブリンG分層	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20090129-0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	2009年4月、南カリフォルニア周辺郡の小児2人がブタインフルエンザA(H1N1)ウイルスに感染した。2症例から検出されたウイルスは、米国やそれ以外の国でも報告されたことがないブタ又はヒトインフルエンザウイルスの遺伝子片を併せ持っていた。いずれの小児もブタとの接触はなく、感染源は不明である。
404	2009/6/25	90273	化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ペプシン	ブタ胃粘膜	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90272に同じ
405	2009/6/25	90274	化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物・製造工程	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20090129-0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90272に同じ
406	2009/6/26	90275	バクスター	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	人血漿	米国	有効成分	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
407	2009/6/26	90276	バクスター	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
408	2009/6/26	90277	アンジェスMG株式会社	ガルスルファーゼ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	ATCCから入手したCHOセルラインをマスターセルバンクに使用した細胞株	製造工程	無	無	無			
409	2009/6/26	90278	協和醗酵キリン	アルテブラーゼ(遺伝子組換え) エポエチンアルファ(遺伝子組換え) ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
410	2009/6/26	90279	協和醗酵キリン	アルテブラーゼ(遺伝子組換え) エポエチンアルファ(遺伝子組換え) ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	米国	製造工程	無	無	無			
411	2009/6/26	90280	協和醗酵キリン	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウシの胆汁、結合組織、皮膚、骨(頭蓋骨、せき髄を含まない。せき柱骨を含む可能性がある。)に由来するペプトン	米国	製造工程	無	無	無			
412	2009/6/26	90281	協和醗酵キリン	ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)	乳糖	ウシ乳由来の乳糖	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
413	2009/6/26	90282	協和醗酵キリン	エポエチンアルファ(遺伝子組換え) ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ臓由来トリブシン	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	エボラ出血	OIE (December 23, 2008)	2007~2008年フィリピンの養豚場でブタの死亡率が上昇し、政府が調査した結果、2008年10月にブタでエボラレストンウイルス及びブタ繁殖・呼吸器障害症候群(PRRS)ウイルス強毒性株の感染が確認された。エボラレストンウイルスのブタへの感染を示す初の報告。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年3月31日	90056に同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20081125.3715	90080に同じ
												インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 369-374	新規のインフルエンザAウイルスに関して、2009年2月28日にアイオワ州からブタインフルエンザA(H1N1)の3歳男児への感染例が報告された。ブタへの密接な接触が確認されている。男児は回復している。米国における今シーズン3例目のブタインフルエンザ感染例である。
												新型インフルエンザ(H1N1)	WHO/EPR 2009年5月21日	2009年5月21日現在の世界における新型インフルエンザ(H1N1)感染状況。41カ国、11034例(死亡85例)が確定されている。
414	2009/6/30	90283	シェリング・プラウ	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
415	2009/6/30	90284	シェリング・プラウ	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	ウシトランスフェリン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
416	2009/6/30	90285	シェリング・プラウ	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	原産国不明(ATCC登録株)	製造工程	無	無	無			
417	2009/6/30	90286	全業工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血清	米国	製造工程	無	無	無			
418	2009/6/30	90287	全業工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	D-ガラクトース	ウシ母乳	米国		無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
419	2009/6/30	90288	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	フェツイン	ウシ血清由来	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
420	2009/7/9	90289	株式会社ポーラファルマ	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分	無	無	無			
421	2009/7/9	90290	株式会社ポーラファルマ	トロンピン	トロンボプラステン	ブタ肺	デンマーク	製造工程	無	無	無			
422	2009/7/10	90291	富士製薬工業	精製下垂体性腺刺激ホルモン	精製下垂体性腺刺激ホルモン	更年期婦人の抽出物	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO 2009年1月19日	90017に同じ
												HIV	Retrovirology 2008; 5:	90017に同じ
												レンサ球菌感染	日本感染症学会総会学術集会 第83回 O-173	Streptococcus Dysgalactiae subsp. Dysgalactiaeに起因した、劇症型A群連鎖球菌感染症(STSS)を伴う壊死性筋膜炎症例の報告。ヒトにおける初の感染報告である。
												新型インフルエンザ(H1N1)	WHO/WER 2009; 84: 173-184	新型インフルエンザ(H1N1)が発生し、警戒レベルは2009年4月29日にフェーズ5まで引き上げられた。5月12日時点では、30カ国、5251例の感染例がWHOに報告されている。
												ウイルス性脳炎	ProMED-mail20090515.1821	ヒトにおける初のシカダニウイルス感染例の報告(出典NEJM)。ニューヨークの62歳男性がシカダニウイルスに感染したシカダニの咬傷を受けた後、髄膜脳炎で死亡した。
423	2009/7/10	90292	富士製薬工業	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	WHO 2009年1月19日	90017に同じ
												HIV	Retrovirology 2008; 5: 103	90017に同じ
												レンサ球菌感染	日本感染症学会総会学術集会 第83回 O-173	90291に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												新型インフルエンザ(H1N1)	WHO/WER 2009; 84: 173-184	90291に同じ
												ウイルス性脳炎	ProMED-mail2009051 5.1821	90291に同じ
424	2009/7/10	90293	富士製薬工業	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム	ブタの腸粘膜	中国、EU	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ
425	2009/7/10	90294	富士フイルムRIファーマ	テクネチウム大擬集人血清アルブミン(99Tc)	テクネチウム大擬集人血清アルブミン(99mTc)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	CDC/MMWR 2009; 58: 4-7	90188に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												黄熱	ProMED-mail2009040 2.1217	90188に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	2008年に南アで発生した致死性出血熱のアウトブレイクにおいて、30年ぶりに新規の旧世界アレナウイルスが分離された。発見された地名(Lusaka, Johannesburg)より、Lujo virusと命名された。
426	2009/7/13	90295	化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail2009012 9.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90272に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009年5月16日	兵庫県神戸市における新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が疑われる患者発生についての報告。国内最初の新型インフルエンザ患者が確認された。患者は10代後半の男性。本人に渡航歴はない。国立感染症研究所からの検査の結果、A型(+)、ヒトH1(-)、ヒトH3(-)、新型H1(+)であったため、新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が否定せず、新型インフルエンザが疑われる患者として神戸市に届出があった。患者は感染症法に基づき、神戸市内の感染症指定医療機関に入院した。
427	2009/7/16	90296	シェリング・ブラウ	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	ブタインスリン	ブタ臓抽出物	原産国不明(米国薬局方及びヨーロッパ薬局方適合品)	製造工程	有	無	無	エボラ出血	WHO Disease Outbreak News 2009年3月31日	2009年2月16日、フィリピン政府からの発表によると、豚に日常的に接触のある処理施設の労働者1例にEbola Reston virus(ERV)抗体に陽性反応が認められた。これにより6例が、2008年12月の検査開始以降、フィリピン国内でERV抗体陽性となった。この6例すべてが仕事で豚に触れている。フィリピン保健当局は、陽性反応を示した6例すべては健康であり、ブタからヒトへの移行が感染源として最も可能性が高いとしている。
												新型インフルエンザ	CDC/NMWR 58(17):470-472 2009年5月8日	2009年4月24日、CDCはテキサス州とカリフォルニア州にて、ブタインフルエンザA(H1N1)ウイルス感染確定症例8例を報告した。米国患者から同定されたウイルスはメキシコ患者のものと遺伝的に類似していると確認された。4月24日移行、米国およびその他の国々においてブタインフルエンザA(H1N1)ウイルス感染症例は増加し続け、4月28日時点の米国症例の約半数(45例)はニューヨーク市の高校生と職員であった。
428	2009/7/17	90297	CSL ベーリンゲ	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
429	2009/7/17	90298	CSL ベーリン グ	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	乾燥濃縮人 アンチトロン ビンⅢ	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	有効成分	有	有	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												新型インフルエ ンザ(H1N1)	CBER 2009 年4月30日	新型インフルエンザ(H1N1)の輸血を介した感 染可能性について。輸血により季節性インフル エンザに感染した例はこれまで報告されたこと が無く、新型インフルエンザについても報告さ れていない。現時点で、輸血のメリットは新型イ ンフルエンザの理論的リスクをはるかに上回 る。なお、血漿分画製剤については製造工程 におけるクリアランスが十分であることが確認 されている。
												クロイツフェル ト・ヤコブ病	Transfusion; 49(5); 977- 984	米国での調査研究の結果は、輸血によるCJD 伝播については根拠に欠けるとしている。2004 年以降、英国ではvCJDの輸血による伝播が報 告され、変異型でないCJDもしくは古典的CJD の伝播のリスクについて懸念が高まってきた。 1995年、米国赤十字社はCDCと共同で輸血に よるCJD伝播の懸念を評価する詳細な疫学的 データを得るために、供血後にCJDと診断され た供血者(CJDドナー)の長期後向き調査を 開始し、CJDドナーの血液成分を投与された受 血者を特定した。本結果からは、CJDの輸血に よる伝播を示す根拠は示されなかった。CJDド ナーによる異常プリオンの輸血伝播のリスク は、vCJDドナーによる伝播のリスクと比べて顕 著に低いことを後押しする結果となった。
430	2009/7/22	90299	味の素	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナト リウム	健康なブタ の腸粘膜	ブラジル	有効成分	有	無	無	エボラ出血	OIE (December 23, 2008)	90282に同じ
												エボラ出血	Reuters (January 23, 2009)	フィリピンマニラの農場で2008年10月にブタで 始めてエボラレストンウイルスが確認され、 2009年1月には当該農場の労働者少なくとも1 名で抗体陽性を示した。同ウイルスのブタから ヒトへの感染を示す初の報告。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ
												新型インフルエンザ	WHO/EPR 2009年4月24日, 2009年4月27日 WHO/Media centre 2009年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> 米国、メキシコにおけるインフルエンザ様疾患について: 米国政府は米国内の7人の豚インフルエンザA/H1N1確定症例(5人がカリフォルニア、2人がテキサス)と9人の疑いがある症例を報告した。死亡症例は報告されていない。メキシコ政府は3つの別々の事例を報告しており、メキシコ連邦区ではインフルエンザ様疾患が挙がり始め、4月23日までに854人以上の肺炎が発生し、うち、59人は死亡している。 豚インフルエンザupdate3: 豚インフルエンザA(H1N1)の発生状況は刻々と変化しており、2009年4月27日現在、米国では40症例(死亡例なし)、メキシコでは7症例の死亡を含む26症例で同ウイルスへの感染が確認された。 豚インフルエンザ: 国際保健規則(2005年)の元設立された緊急委員会が2009年4月27日、2回目となる会合を開催した。
431	2009/7/23	90300	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	オマリズマブ(遺伝子組換え)	ヒト化マウスモノクローナル抗体	—	有効成分	無	無	無			
432	2009/7/23	90301	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシペプトン	ウシの皮及び骨	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
433	2009/7/23	90302	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシトリプトン	ウシの乳及びブタのすい臓由来酵素	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
434	2009/7/23	90303	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシTPCK処理トリプシン	ウシのすい臓	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
435	2009/7/23	90304	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ブタカルボキシペプチターゼ	ブタのすい臓	アメリカ	製造工程	無	無	無			
436	2009/7/23	90305	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシ肉エキス	ウシの骨格筋	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
437	2009/7/23	90306	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシペプトン	ウシの骨、皮、結合組織及胆汁	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
438	2009/7/23	90307	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ウシベブチカーゼ	ウシ乳及びブタの酵素	①ウシ: オーストラリア及びニュージーランド②ブタ: アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無			
439	2009/7/23	90308	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	ブタトリプシン	ブタのすい臓	デンマーク、アメリカ、イギリス、ドイツ、オランダ、ポルトガル、ベルギー、スウェーデン、アイスランド、スペイン、ハンガリー及び韓国	製造工程	無	無	無			
440	2009/7/23	90309	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)注射液凍結乾燥製剤	加水分解ペプトン	ブタの胃	アメリカ	製造工程	無	無	無			
441	2009/7/24	90310	デンカ生研	発疹チラスワクチン	卵黄囊	ニワトリの受精卵	製造中止により記載なし	製造工程	有	無	無	サルモネラ	CDC/MMWR 2009; 58: 25-29	90027に同じ
442	2009/7/27	90311	ILS	パルナバリンナトリウム	パルナバリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	有	無	無	インフルエンザ	CDC Weekly Report/flu summary update week08	2009年2月22日から28日の8週間において、米国での季節性インフルエンザ発生は概ね前の週と同じ水準であった。インフルエンザA(H1N1)およびBについて、米国地域ごと、週ごとに比較検討した報告。
												インフルエンザ	WHO/EPR 2009年4月24日	90299に同じ
												新型インフルエンザ	WHO/EPR update6 2009年4月30日	2009年4月30日現在、11の国がインフルエンザA(H1N1)に感染した257の症例を公式に報告した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												インフルエンザ	N Engl J Med 2009; 360: 2616-25	米国での2005年から2009年における調査の報告。3種(トリ、ヒトおよびブタ)が再集合したブタインフルエンザA(H1)ウイルスのヒトへの感染についての11症例の報告。
												新型インフルエンザ	N Engl J Med 2009; 360: 2605-15	4月15日から5月5日の間、米国の41州において、総計642症例からヒトにおける新規ブタインフルエンザA(H1N1)ウイルスの感染を確認した。
443	2009/7/28	90312	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												インフルエンザ	MMWR 2009; 58: 1-3	2009/4/17米CDCはカリフォルニア南部の小児2例の熱性呼吸器疾患をブタインフルエンザA(H1N1)感染であると特定した。アマンダジン、リマンダジンに抵抗性があり、過去に報告されていない固有の遺伝子断片の組み合わせが含まれていた。ブタ接触歴は無く感染源は不明。
												新型インフルエンザ(H1N1)	FDA/CBER 2009年4月30日	90298に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIENCE.1176062	新型インフルエンザA(H1N1)ウイルスは世界中に急速に広まっている。パンデミックの可能性を判断するのはデータが限られているため難しいが、適切な保険対応を伝えるには必須である。メキシコでの大流行、国際的な広がりの早期情報およびウイルス遺伝的変異について分析することにより、感染力と重症度の早期評価を実施した。